

あおぞら

笑顔

走る「あおぞら号」

希望



みたかハンディキャブ交流誌
2020(令和2)年 冬季号 Vol.144

協力：朗読ボランティア 【ういろうの会】

禅林寺龍華会様からの車両寄贈

9月27日（日）三鷹ボランティアセンターに於いて、禅林寺龍華会様から、トヨタハイエースの寄贈を受けました。加持理事長挨拶の後、禅林寺木村住職、河村三鷹市長からお言葉を頂きました。

木村得玄住職 お言葉

禅林寺住職の木村でございます。私共で禅林寺龍華会基金を立ち上げたのは昭和57年です。最初はボランティアセンターの車椅子で、東京弘済園も最初は自動車等を寄付しました。今東京弘済園で一番寄付が多いのが電動ベッドです。車もあるのですが電動ベッドが一番多くなっています。最初は車椅子の寄贈が多かったのですがだんだんそれが自動車に変更になりました。自動車も初めは普通の自動車だったのですが、そのうちに車椅子で乗れるものというようになり、初めは手動で乗せていたのですが、最近は全部電動で乗ることが出来るというものにだんだん変わって来ました。ただまあその代わり非常に値段がはりまして1台あたりの金額が相当な物になってきています。

それと基金を始めた頃は定期預金の利息とか運用の仕方によっては利息が1割ぐらいありました。今はほとんど利息なしということで、これに替わる物として証券会社で率の良いものを探してそれを買って増やして行くということしかできなくなってしまって、銀行の預金から得られる利息は年間2000円ぐらいしかないという状態になっています。まあ年間4000万円位の寄付を目指していたのですが、現在大体2000万円弱の寄付です。ハンディキャブさんの方は大体車は10年くらい使って頂いてるような状態で、本当はもっと早いほうがいいと思うのですけれども中々それがうまく回りません。近頃は「はなかいどう」の方でも自動車を欲しいとか、あちこちから自動車を欲しいといわれています。それから今一番需要が多くなって来たのが電動自転車です。駐車スペースに困らないものですから、電動自転車が毎年5台以上は出ているのではないかと思います。ちょっと此处数年では利息の増加を望めませんので私共寄付を2000万円以上に増やすことがなかなかできないという状態で、4000万円あれば倍は寄付が出来るのではと思っております。それが中々今思うようには行っていないんですが、お金が少し貯まりましたら寄付の増額をなるべくしていきたいと思っております。

今回の車は電動のリフト車ですね。電動になってから二代目か三代目になりますね。これからまた「なるべく車が古くなってきたら早く言ってください」といっているのですが、各団体とも中々皆さん遠慮がちで、大体1台10年乗ると、かなりもうボロボロになってしまうという状態です。なので、もう少し早いサイクルで寄付が出来たらいいのではないかと思います。寄付につきましては今後なるべく続けられるようにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

河村市長ご挨拶

皆様、おはようございます。三鷹市長の河村孝です。本日はたくさんの方々にお集まりいただき、素晴らしいセレモニーだと思います。

今回、禅林寺様よりみたかハンディキャブに9台目の福祉車両をご寄贈いただき、本当にありがとうございます。このセレモニーの開始前に車両を拝見させていただきましたが、素晴らしい車両であり、三鷹の福祉水準もまたさらに向上することと思います。みたかハンディキャブと三鷹市は、平成27年にパートナーシップ協定を締結させていただきました。三鷹市で将来にわたり生き生きと過ごせる、そういう生活を支えていくための移送手段のための協定であり、私共も大変心強く思っております。三鷹市は、生涯生き生きと暮らせる地域社会を創るために、様々な取り組みを推進したいと思っております。よく報道等で、自助・共助・公助、と言われますが、実は現場ではそういうことには全く関係なく、自助・自立により生涯を生き生きと暮らしていくための仕組みを、共助と公助で考え、支えていく、それが根本であると思っております。自助・自立というものを支えていく地域社会は、まさに共助・公助の融合で初めてできることです。

既に日本、そして三鷹市も超高齢社会を迎えています。引き続き、自助・共助・公助のその仕組みづくりと一緒に取り組んでいく、それが協定の基本的な理念と思っています。これからはもしっかりそういう取り組みを進めていくために、お互い力を尽くして様々な視点から支える社会を創ってきたいと思っていますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。



中央向かって右手に河村市長、左手に木村住職、その左手に加持理事長

安全運転講習

毎日安全に運行をするために毎年行っている安全運転講習会を、9月13日ボランティアセンター2階で三鷹警察署・交通総務部・矢嶋さんから受けました。

特に運転中の交差点で左折時の歩行者の情報・交差点で右折時には前方と右後方の情報・裏道運転中での歩行者や自転車確認等情報確認の重要性の説明を受けました。また我々が日々使用する自転車運転の際、傘の使用・携帯の禁止等、日々疎かにしがちな交通マナーを確認しました。



理事長雑感

****Withコロナの過ごし方****

今年は年初からの新型コロナウイルス感染拡大により今までの日常生活が大きく変わらざるを得ない状況になりました。これからは1年中流行時のような心がけをしていかななくてはなりません。とはいうものの必要以上に怖がり警戒するのも如何なものか、少しずつ様子を見ながら前向きな行動に変えても良いのではと思っています。

去る9月27日には禅林寺龍華会様より新しい車両のご寄贈を頂きました。ご尽力いただいた木村住職に感謝の気持ちをお伝えするとともに、いただいた福祉車両を大切にに使わせていただきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染のどさくさ紛れで理事長に就任しましたが、対策をはじめとしてキャブの新しい方向性を少しずつ見出しつつあると信じております。今後も会員各位のご協力を得てキャブの存続に努力していきたいと思ひます。

コロナ禍の過ごし方 【利用会員さんより】

こんな感染病がやってくるとは・・・。

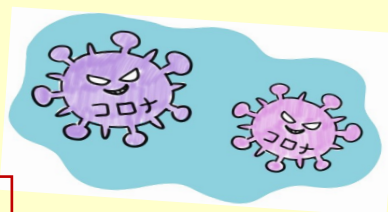
毎年楽しみにしていた車いすハンドサッカー大会の開催も、大好きなコンサートやスポーツ観戦もできなくなりました。

そんな中、新しい挑戦もしました

最近 Zoom を利用して車いすハンドサッカーの運営会議をしました。みんな初めての挑戦で、家族やヘルパーさんのサポートでなんとかできました。出張先の海外から参加してくれた人もいます。

自分はかなり緊張していました。

次回はもう少しスムーズにリラックスしてできるようになればと思います。 【小笹 真裕さん】



息子は重度のトリーチャーコリンズ症候群で気管切開、胃ろうをしています。一般的に重症化しやすいものですから、コロナ禍で心掛けていることは、毎月通院を訪問診療へと切り替え、本人の娯楽公共場所、交通機関を使用しない、手をよく洗う、友達と（親・子ども共に）会うことは控えています。その分、ズームなどPC画面上で友達と会ったり、リモートでのやり取りにしています。遊ぶとしても、散歩、ほぼ家で生活です。

しかし今年から聾学校永福町分教室の幼稚部へ息子は通い始め、コロナ禍の中、すくすく育っています。息子がコロナ禍でもこのような生活が送れるのはハンディキャブさんのおかげです。我が家は、ハンディキャブさんがいらっしやらなかったら、圭がここまで成長できていないなあといつも思っています。もともと感染しやすいので、まだ電車やバスが難しい中、幼稚部へ行けて、通院の必要がある場合は、病院へ行ける。本当に、感謝そのものです。（みなさんありがとうございます。）

コロナ禍といっても、良い面も感じています、時代を後押しした形で、絶対ダメとされた、「リモートワーク」が新しい職場では良しとされ、入院でも学校の付き添いでも、家でも働けるようになりました。

人と人とのつながり、直接会うという事の素晴らしさを再認識しながらも、多様な手段が生まれるという意味で、コロナ禍前の環境では学校に通えない、職場に行けない人など、当たり前の生活が苦しかった人達にとって、それだけではないという手段が増えるきっかけになっていけばと、より優しい社会になっていけばと日々思っています。 【海老原 圭さんの母】

A号車

こちらもリニューアルされました。



今後の予定

コロナ禍のために春・秋の交流会の中止をはじめ様々なイベントの開催が危ぶまれる中、11月28日、29日の2日間、今年度初めての福祉有償運転者講習会を感染防止の対策に努めた上で開催する見込みとなりました。各種運転ボランティア募集活動の甲斐あって、お1人の応募があり、その方にも受講していただく予定です。正式に入会いただいた際には次号の『あおぞら』でご紹介致します。なお、皆様の中にも運転ボランティアとして相応しい方がおられましたら、是非ともご紹介下さい。

今年も早いもので、もう11月下旬、年末年始の運行予約期限をお願いする時期となりました。

以下のとおりですので、宜しくお願い致します。

年末年始における運行予約締切り日のお願い

日頃、みたかハンディキャブをご利用いただきありがとうございます。

年末年始において、次の期間はハンディキャブ事務所をお休みとさせていただきます。12月29日(火)～1月4日(月)

この間も運行は通常通り行いますが、ご予約の締切りを以下のとおりとさせていただきます。早めの締切りとなり申し訳ありません。

運行希望日		予約締切り日
12月29日(火)～1月4日(月)	⇒	12月23日(水)
1月5日(火)～1月8日(金)	⇒	12月24日(木)

上記以外は、従来どおり、運行希望日より土、日、祝日を日数に入れずに4日前までが予約締切り日となります。

例えば1月9日(土)～12日(火)の予約は1月5日(火)が締切り日です。

以上、ご協力のほど、お願い申し上げます。

来年春の交流会予定

2020年中の行事は、新型コロナウイルス感染症が流行していることからみんな中止になりました。ボランティア一同、来年こそは利用者さんとボランティアの交流の場「交流会」を開催したいと準備をしています。

次号『あおぞら』Vol.145でご案内を致したいと思っています。

みたかハンディキャブ

ホームページ

QRコード



★運行管理者(東垣)★

080-1102-7281

上記連絡先に不通の場合のみ下記の連絡先へご連絡ください。

須山:080-2150-9696

宮田:090-4833-3541

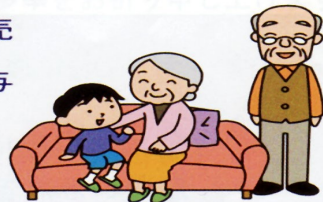
加持:090-1105-7162



私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



<サカイ・ヘルスケア 三鷹店>
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

『NPO法人 みたかハンディキャブ 交流誌』

*発行/NPO法人 みたかハンディキャブ

*発行責任者/理事長 加持真人

*〒181-0012 三鷹市上連雀8-3-10 三鷹市上連雀分庁舎

*TEL/0422-41-0185 *FAX/0422-41-0274

*E-mail/mcab3@jcom.zaq.ne.jp

*URL/https://www.mcab.jp/

発行日:2020(令和2)年11月30日